

# 地域住民を主役に抜てき

## 「流し雛行事でのまち飾り術」

### 鳥取市南商工会女性部



揃いのハッピーで観光客を迎える

鳥取市南商工会地域は、鳥取市南部に位置する人口約一万四〇〇〇人、商工会員数約三三〇の清流・千代川に沿った山間の地域です。商工会は平成十六年の行政合併を受け、それまでの八頭郡内の河原町、用瀬町、佐治村の三商工会が合併して平成十九年に誕生しました。

当女性部は、「地域振興とまちづくり」をテーマに現在六九名の部員が各地域で活動しています。

### 用瀬の流し雛

用瀬町地域は、古くは上方往来の宿場町、また近郊近在の物資の集散地として栄えたまちです。この用瀬町で、江戸時代から脈々と続く民俗行事「流し雛」が毎年旧暦三月三日に行われます。男女一对の紙雛をワラで編んだ棧俵さんたわらに乗せ、菜の花・おひり・菱餅を添えて千代川に流します。紙雛に災厄を託して一年間の無病息災を願う素朴な行事です。

当日は、流し雛の製作実演、短歌俳句の会、茶席、餅つきなどが催さ

れ、県内外から約八五〇〇人の観光客・見物客で賑わいます。また、昭和六十年には「用瀬の雛送り」として、鳥取県無形民俗文化財に指定されています。

### 女性パワーで商店街を雛飾り通りに

それまでの流し雛行事は、国道五三号線沿いの千代川水辺周りと「流しびなの館」の周辺だけが賑わい、そこから少し離れた商店街といえは、雛飾りを一般の方に公開する家庭がわずか三、四軒見受けられるだけでした。

時代とともに空き店舗も増え始めた中で、女性部は「せめて流し雛の日だけでも商店街を賑やかにしたい」「用瀬に来てくださるお客様にもっと楽しんでいただきたい」という思いから、それを具体化する方法を検討。さっそく周辺の商店や個人宅を回って直接声をかけることにしました。

「商工会女性部ですが、流し雛の日にお雛さんを飾っていただけませんかでしょうか」



個人宅の玄関にもたくさんの雛飾りが並ぶ

「奥に飾ってあるお雛さんを道路側に向けていただけじゃないでしょうか。人形でもダルマさんでも何でも構いませんので」

「お花を玄関先に生けていただけませんかでしょうか」

二年、三年と声かけを行っていく中で、私たち女性部の思いに共感してくださる方も少しずつ増え続けました。

さらに私たちは「もっと用瀬らしく」「もっと賑やかに」という思いから、家裏の土蔵と小川の醸し出す絶

妙な風景、各家の勝手口から渡る小さな橋、宿場の面影が鮮明に残る街道や町家のつくりなどを背景に、かつてはたくさんの水車があつた川沿いにも、お雛さんを飾ったりしました。表通りの華やかさとは違い、水のある風景とお雛さんが不思議と相性よく似合います。

やがて、そのお雛さんをライトアップしてくださる協力団体も現れ、流し雛の前夜祭が賑わうようにもなりました。

「商工会の女性部さんはまちを盛り上げてくれた。やっぱり女性パワーはすごい、素晴らしい」と多くの方々から賞賛され、女性部として自らの活動に自信を深めることができました。それにも増して、女性部の呼びかけに地域の方が賛同し協力してくださったことが、何よりの喜びでした。

今では流し雛の日は、町中が華やいだ空気に包まれ、一年で最も町民が輝く日でもあります。家の前に花を生けてくださったたり、お雛さんを飾ってくださいたりと、まさにまちは「雛飾り通り」。皆さんがそれぞれ趣向を凝らし、おもてなしの心でお客

様をお迎えしてくださるのです。

地域の輪も広がり、まちの一人ひとりが主役となつて、積極的に流し雛行事を盛り上げてくださっています。ある方はつるし飾りや折り紙の先生、また、ある方は飾りつけのコーディネーターとなつて、それぞれの得意分野で観光客や地域住民との良い関係が生まれ、相乗効果も見られるようになりました。

まちがだんだん寂しくなっていく中、商工会女性部は地域の方々と心一つにして、伝統文化である流し雛行事を次世代に伝えていきたいと思ひます。

平成二十二年の用瀬流し雛行事は、四月十六日（金）の開催です。当日、青年部と合同で、つきたてのよもぎ餅の実演販売も行います。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

### 独居老人の会食サービス

会食サービスは、「商売人は、消費者によって生かされている。何か地域に役立つことはないものか」という考えから、地元の社会福祉協議会と連携をとりながら、昭和五十五年から取り組んでいます。地域の一人暮らしのお年寄りの方に集まってい

ただき、私たち商工会女性部員が料理でおもてなしをしながら、いろいろな話をします。人との結びつきを大切にしたいという思いで行い、現在まで三〇年間も続いていきます。

近年はそのほかのサービスも増えたため、会食自体は年一回となりましたが、私たちは心をこめて体によさしい食事づくりに努めています。一緒に食事をしながら皆さんの笑顔を見る度に「続けて良かった」と喜びを感じています。

いずれ私たちもその立場になることを思いながら、このサービスをいつまでも続けていきたいと思ひます。



30年続く独居老人会食サービス